

1.工事概要

(赤着色セルは必須入力箇所です。)

発注機関を選択	大分類	発注機関コード	法人番号	https://www.houjin-bangou.nta.go.jp/		
	中分類	発注機関コード	請負会社名	建設業許可の場合	号	記入年月日 R 年 月 日
	小分類	発注機関コード	建設業許可の場合	号	解体工事業登録の場合	号
		担当者	会社所在地	TEL	TEL	工事責任者
		TEL			Email	調査票記入者

工事名	工種を選択	工事種別コード*3	請負金額	千百十 千百十 億 億 億 万 万 万 1万円未満四捨五入 万円(税込み)	左記金額のうち特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用	千百十 千百十 億 億 億 万 万 万 1万円未満四捨五入 万円(税込み)	令和 年 月 日 から 令和 年 月 日 まで	再資源化等が完了した年月日	令和 年 月 日	建築面積	延床面積	構造	用途	階数	地上 階	地下 階
工事施工場所		住所コード	工期													
工事概要等	施工条件の内容 (再生資源の利用に関する特記事項等)			建築・解体工事のみ 右欄に記入して下さい												

※解体工事については、建築面積をご記入いただくなくても結構です。

2.建設資材利用計画

建設資材 (新材を含む全体の利用状況)					左記のうち、再生資材の利用状況 (再生資材を利用した場合に記入して下さい)								再生資源
分類	小分類	規格	主な利用用途	利用量(A)	再生資材の名称	再生資材利用量(B)	再生資材の供給元施設、工事等の名称	供給元種類	施工条件内容	再生資材の供給元場所住所	住所コード	利用率	
	コード*5		コード*6	小数点第三位まで	コード*7	小数点第三位まで		コード*8	コード*9		コード*4	R/A×100	
特定建設資材	コンクリート			トン		トン						0 %	
	コンクリート及び鉄から成る建設資材			トン		トン						0 %	
	合計			0.000 トン		0.000 トン						0 %	
	木材			トン		トン						0 %	
その他の建設資材	土砂			締めm ³		締めm ³						0 %	
	砕石			m ³		m ³						0 %	
	塩化ビニル管・継手			トン		トン						0 %	
	石膏ボード			トン		トン						0 %	
合計			0.000 トン		0.000 トン						0 %		

- コード*5
コンクリートについて
1.生コン(パージン骨材)
2.再生生コン(Co再生骨材H)
3.再生生コン(Co再生骨材M)
4.再生生コン(Co再生骨材L)
5.再生生コン(その他再生材)
6.無筋コンクリート二次製品(リユース品)
7.無筋コンクリート二次製品(その他再生材)
8.再生無筋コンクリート二次製品(Co再生骨材)
9.再生無筋コンクリート二次製品(その他再生材)
10.その他
- コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1.有筋コンクリート二次製品(パージン骨材)
2.有筋コンクリート二次製品(リユース品)
3.再生有筋コンクリート二次製品(Co再生骨材)
4.再生有筋コンクリート二次製品(その他再生材)
5.その他
- 木材について
1.木材(ボード類を除く) 2.木質ボード
- アスファルト・コンクリートについて
1.粗粒度アスコン 2.密粒度アスコン 3.細粒度アスコン
4.開粒度アスコン 5.改質アスコン 6.アスファルトモルタル
7.加熱アスファルト安定処理路盤材 8.その他
- 土砂について
1.第一種建設発生土 2.第二種建設発生土 3.第三種建設発生土 4.第四種建設発生土
5.浚渫土以外の泥土 6.浚渫土 7.土質改良土 8.建設汚泥処理土
9.再生コンクリート砂 10.山砂、山土などの新材(採取土、購入土)
- 砕石について
1.クラッシャーラン 2.粒度調整砕石 3.鉱さい 4.単粒度砕石
5.ぐり石、割ぐり石、自然石 6.その他
- 塩化ビニル管・継手について
1.硬質塩化ビニル管 2.その他
- 石膏ボードについて
1.石膏ボード 2.シーリング石膏ボード 3.強化石膏ボード
4.化粧石膏ボード 5.石膏ラスボード 6.その他
- その他の建設資材について
(利用量の多い上位2品目を具体的に記入して下さい)

- コード*6
アスファルト・コンクリートについて
1.表層 2.基層 3.上層路盤 4.歩道 5.その他(駐車場舗装、敷地内舗装等)
- 土砂について
1.道路路体 2.路床 3.河川築堤 4.構造物等の裏込材、埋戻し用 5.宅地造成用 6.水面埋立用 7.ほ場整備(農地整備) 8.その他
- 砕石について
1.舗装の下層路盤材 2.舗装の上層路盤材 3.構造物の裏込材、基礎材 4.その他
- 塩化ビニル管・継手について
1.水道(配水)用 2.下水道用 3.ケーブル用 4.農業用 5.設備用 6.その他
- 石膏ボードについて
1.壁 2.天井 3.その他
- その他の建設資材について
(利用用途を具体的に記入して下さい)

- コード*7
コンクリートについて
1.再生生コン(Co再生骨材H) 2.再生生コン(Co再生骨材M) 3.再生生コン(Co再生骨材L) 4.再生生コン(その他再生材)
5.無筋コンクリート二次製品(リユース品) 6.再生無筋コンクリート二次製品(Co再生骨材)
7.再生無筋コンクリート二次製品(その他再生材) 8.その他
- コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1.有筋コンクリート二次製品(リユース品) 2.再生有筋コンクリート二次製品(Co再生骨材)
3.再生有筋コンクリート二次製品(その他再生材) 4.その他
- 木材について
1.再生木材(ボード類を除く) 2.再生木質ボード
- アスファルト・コンクリートについて
1.再生粗粒度アスコン 2.再生密粒度アスコン 3.再生細粒度アスコン
4.再生開粒度アスコン 5.再生改質アスコン 6.再生アスファルトモルタル
7.再生加熱アスファルト安定処理路盤材 8.その他
- 土砂について
1.第一種建設発生土 2.第二種建設発生土 3.第三種建設発生土
4.第四種建設発生土 5.浚渫土以外の泥土 6.浚渫土
7.土質改良土 8.建設汚泥処理土 9.再生コンクリート砂
- 砕石について
1.再生クラッシャーラン 2.再生粒度調整砕石 3.鉱さい 4.その他
- 塩化ビニル管・継手について
1.再生硬質塩化ビニル管 2.その他
- その他の建設資材について
(利用量の多い上位2品目の再生資材名称を具体的に記入して下さい)

- コード*8
再生資材の供給元について
1.現場内利用 2.他の工事現場(内陸) 3.他の工事現場(海面) 4.再資源化施設 5.土砂ストックヤード 6.その他

- コード*9
施工条件について
1.再生材の利用の指示あり 2.再生材の利用の指示なし

様式2・ロ 再生資源利用促進計画書 ー建設副産物搬出工事用ー

1.工事概要 表面(様式1)に必ずご記入下さい

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

2.建設副産物搬出計画

建設副産物の種類	①発生量 (掘削等) =②+③+④ 小数点第三位まで	現場内利用・減量				現場外搬出について										再生資源利用促進率			
		現場内利用		減量化		搬出先名称 2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上にわたる時は、用紙を換えて下さい。		搬出先場所住所		住所コード *4		運搬距離 千 百 十 一 *13		④現場外搬出量 小数点第三位まで		⑤再生資源利用促進量 ①		②+③+⑤ ① (%)	
場外搬出時の性状	用途コード *10	②利用量 小数点第三位まで	うち現場内改良分 小数点第三位まで	減量法コード *11	③減量化量 小数点第三位まで	区分	施工条件の内容 コード*12	住所コード *4	運搬距離 千 百 十 一 *13	搬出先の種類 コード*13	④現場外搬出量 小数点第三位まで		うち現場内改良分 小数点第三位まで		⑤再生資源利用促進量 ①		②+③+⑤ ① (%)		
資材廃棄物	コンクリート塊	0.000	トン								km		トン	トン	0.000	トン	0	%	
	建設発生木材A (柱、ボードなど木製資材が廃棄物となったもの)	0.000	トン								km		トン	トン	0.000	トン	0	%	
	アスファルト・コンクリート塊	0.000	トン								km		トン	トン	0.000	トン	0	%	
建設廃棄物	その他がれき類	0.000	トン								km		トン	トン	0.000	トン	0	%	
	建設発生木材B (立木、除根材などが廃棄物となったもの)	0.000	トン								km		トン	トン	0.000	トン	0	%	
	建設汚泥	0.000	トン								km		トン	トン	0.000	トン	0	%	
	金属くず	0.000	トン								km		トン	トン	0.000	トン	0	%	
	廃塩化ビニル管・継手	0.000	トン								km		トン	トン	0.000	トン	0	%	
	廃プラスチック (廃塩化ビニル管・継手を除く)	0.000	トン								km		トン	トン	0.000	トン	0	%	
	廃石膏ボード	0.000	トン								km		トン	トン	0.000	トン	0	%	
	紙くず	0.000	トン								km		トン	トン	0.000	トン	0	%	
	アスベスト (飛散性)	0.000	トン								km		トン	トン	0.000	トン	0	%	
	その他の分別された廃棄物 (建設混合廃棄物)	0.000	トン								km		トン	トン	0.000	トン	0	%	
建設発生土	第一種建設発生土	0.000	地山m ³								km		地山m ³	地山m ³	0.000	地山m ³	0	%	
	第二種建設発生土	0.000	地山m ³								km		地山m ³	地山m ³	0.000	地山m ³	0	%	
	第三種建設発生土	0.000	地山m ³								km		地山m ³	地山m ³	0.000	地山m ³	0	%	
	第四種建設発生土	0.000	地山m ³								km		地山m ³	地山m ³	0.000	地山m ³	0	%	
	浚渫土以外の泥土	0.000	地山m ³								km		地山m ³	地山m ³	0.000	地山m ³	0	%	
	浚渫土 (建設汚泥を除く)	0.000	地山m ³								km		地山m ³	地山m ³	0.000	地山m ³	0	%	
	合計	0.000	地山m ³										0.000	地山m ³	0.000	地山m ³	0.000	地山m ³	0

コード*10 1.路盤材 2.裏込材 3.埋戻し材 4.その他	コード*11 1.焼却 2.脱水 3.天日乾燥 4.その他	コード*12 施工条件について 1.A指定処分 (発注時に指定されたもの) 2.B指定処分(もしくは準指定処分) (発注時には指定されていないが、 発注後に設計変更し指定処分とされたもの) 3.自由処分	コード*13 (建設廃棄物の場合) 1.売却 2.他の工事現場 3.広域認定制度による処理 4.中間処理施設(アスファルト合材プラント) 5.中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設) 6.中間処理施設(サーマルリサイクル) 7.中間処理施設(単純焼却)	(建設発生土の場合) 1.売却 2.他の工事現場(内陸) 3.他の工事現場(海面) 4.土質改良プラント 5.工事予定地・仮置場・ストックヤード (再利用の目的がある場合)	6.工事予定地・仮置場・ストックヤード (再利用の目的がない場合) 7.採石場・砂利採取跡地等復旧事業 8.廃棄物最終処分場(覆土としての受入) 9.廃棄物最終処分場(覆土以外の受入) 10.土捨場・残土処分場
--	--	---	--	--	--

注記) 一般廃棄物は記入しないで下さい。
 ・ 土壌汚染対策法に基づき処理する土壌は記入しないで下さい。

※ 6.9.10へ搬出した場合は、有効利用とみなされません。